

## 会 議 録

会議名	平成 28 年度 第 1 回定住自立圏共生ビジョン懇談会
開催日時	平成 28 年 8 月 8 日(月) 14:00~15:30
開催場所	丸亀市役所本館 5 階第 1 会議室
出席者	(出席委員) 板倉宏昭(会長)、神原正、佐藤友光子、角野幸治、立山雄一、 高橋勝子、都村忠弘、平田正数 (欠席委員) 安益久広、片山昭彦、草薙めぐみ、高木和代、森茂、山内法知 (敬称略)
議 題	・平成 27 年度事業実施状況 及び 平成 28 年度事業実施予定について ・第 2 次定住自立圏共生ビジョンの策定について
傍聴者	0 人
事務局	丸亀市市長公室長 山田理恵子 丸亀市政策課 課長 山地幸夫、副課長 富士川 貴、担当長 志村芳隆 (関係市町) まんのう町企画観光課 課長 長森正志
発言者	議事の概要及び発言の要旨
山地課長	ただ今から平成 28 年度第 1 回瀬戸内中讃定住自立圏共生ビジョン懇談会を開会いたします。本年度最初の会議となりますが、委員の交代がありました。四国職業能力開発大学の立山雄一様です。よろしくお願いいたします。 申し遅れましたが、4 月の異動により丸亀市政策課課長として参りました山地です。よろしくお願いいたします。 最初に、山田市長公室長よりごあいさつを申し上げます。
山田市長公室長	今日は大変暑い中、忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。この 4 月に市長公室長として参りました山田と申します。前任の山田哲也さんは丸亀市観光協会の事務局長として活躍しています。この定住自立の取組の中でも観光の分野で支えていただけるものと思います。委員の皆様も多方面からご参加いただいていますので、これから第 2 次共生ビジョンの策定にあたりましてもお力添えをいただきたいと思ひます。
山地課長	それでは、議事に入りますが、進行につきましては、会長よりお願いします。
板倉会長	本日の会議でございますが、瀬戸内中讃定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱第 6 条第 2 項の規定において、「会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。」と規定されておりますが、現在、委員総数 14 名中、8 名出席でありますので、会議は有効に成立しておりますことをご報告させていただきます。

	<p>本日の議事は、「瀬戸内中讃定住自立圏共生ビジョン」に記載しております22の取組みに関する（１）「平成27年度事業実施状況及び平成28年度事業実施予定について」、及び（２）「第2次定住自立圏共生ビジョンの策定について」でございます。</p> <p>それでは、（１）について事務局より説明をお願いします。</p>
志村	<p>（(1) 平成27年度事業実施状況及び平成28年度事業実施予定について、資料に基づき説明))</p>
板倉会長	<p>ただ今事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問等はありませんか。</p>
高橋委員	<p>子育てサービスの広域化の推進のうち、病児・病後児保育施設における他市町への利用状況はどのような状況であるか。また、今後の新たな取組みを協議する予定となっているが、新たな取組みは何を考えているのか。</p>
志村	<p>病児・病後児保育施設は丸亀市には1病院ありますが、昨年度、市外住民は178人の利用であった。善通寺市の施設での他市町利用状況はお聞きできていない。</p>
山地課長	<p>丸亀市の住民で善通寺市の施設を利用して差額助成をした人は、約30人であった。以前から、市外住民でも利用できる状況ではあったが、昨年度からこの差額助成を開始した。</p>
志村	<p>今後の新たな取組みについては、後ほど第2次ビジョンの策定のところで説明しますが、各市町の子育て情報を相互に共同提供する取組みを考えている。</p>
都村委員	<p>定住自立圏域就職面接会は、新聞にも掲載されていたが、来場者が30人弱と少なく、あまり成果が思わしくないようであった。予算もかけているので、何か工夫が必要ではないかと思う。例えば、今年は6月には内定がほぼ終わっている状況もあります。または、お盆でUターンしたときに実施するなど工夫が必要ではないかと思う。そのあとの成果も調べていただきたい。</p> <p>外国人向けの観光施策について、今は台湾の方が多く来ている。琴平町の観光協会では、中国語の簡単な会話ができるような研修会を実施していて、それによって外国人観光客とのコミュニケーションが全然違ってくるという状況も聞いている。そのような検討もしてはどうかと思う。</p>
富士川副課長	<p>先日の就職面接会は求職者が非常に少なかった。売り手市場になっていることも影響しているが、時期的にも今年は解禁時期が昨年と変わったという状況がある。また事業所も介護事業所などマンパワーを必要とする業種が多く、事前の調べでは事務職を希望する学生が多く、その点でもミスマッチもあったという反省を担当課からも聞いており、周知方法や開催時期など検討の余地がある。結果については例年通り調べて、報告させていただく。</p>

	<p>外国人向けの観光施策は、先日の首長会でもインバウンドの観光施策を共同でやっ ていこうと提案があった。おもてなしのための会話が官民を挙げてできる取り組みは いいアイデアだと思うので、検討材料としていきたい。</p>
都村委員	<p>会話教室では地元の人に講師になってもらえば、費用も少なく実施できる。商工会 でも好評であった。</p> <p>就職面接会については、どうしたら学生が来てくれるか考えないと、参加企業も少 なくなつて悪循環になっては困るので、PRの方法を十分検討していただきたい。</p>
富士川副課 長	<p>後ほど第2次ビジョンのところで説明するが、今年度、丸亀市が単独で学生のイン ターンシップを実施している。地元の企業が知られていないという課題もあるので、 大学3年生を対象に紹介も兼ねて実施し、地元で就職してもらおうという取り組みで、 今後定住自立圏でも広げていこうと考えている。</p>
平田委員	<p>就職面接会はハローワークとも連携しているのか。</p>
富士川副課 長	<p>ハローワークとも連携をして、共同開催している。</p>
神原委員	<p>金毘羅街道の活用と瀬戸内国際芸術祭の活用では、28年度で、講演会の実施や旅 行プランの検討をすることになっているが、予算もついでいない状況で寂しく感じ る。本年は瀬戸内国際芸術祭の開催年でもあるので、2市3町で具体的な策がほしい。</p>
富士川副課 長	<p>瀬戸内国際芸術祭は非常に多くの観光客が訪れる好機である。それをいかに2市3 町の観光地に誘導するかを考えてやっている。ARアプリの開発も、その観光客を誘 導するためのものである。金毘羅街道も活用できるよう担当課にも伝えていく。</p>
角野委員	<p>瀬戸内国際芸術祭の活用に関連して、3月にJRのダイヤ改正があったが、多度津 駅までは便利であるが、そこから土讃線で善通寺、琴平駅への乗り継ぎが不便にな っている。時刻表を少しずらすだけでいいので、県外観光客も圏域内の移動が気軽に できるよう要望できたらと思う。</p> <p>就職面接会について、昨年事業所として参加していたが、ほとんどが県内と岡山の 大学生であったように思うが、どこまで周知されているのか。東京や大阪での移住P Rや物産展等観光PRの機会と一緒に周知してはどうか。特に大阪をターゲットに周 知してはどうか。</p>
富士川副課 長	<p>就職面接会のPRについて、移住フェアを県とともに東京や大阪で実施しているほ か、各市町も個別に物産展をしているので、そのような機会にもPRできればと思う。</p>
山地課長	<p>JRの運行時刻については、岡山駅での乗り継ぎ等の関係もあるのかもしれない が、JRにも確認したい。これとは別になるが、圏域内の移動する新しい取り組みと</p>

佐藤委員	<p>して、レンタサイクルの事業を検討している。</p> <p>外国人向けの観光施策について、台湾からの外国人観光客が多い。滞在型観光を考えるならば、アジアだけでなくヨーロッパの方も考えてみてはどうか。高野山ではフランスからの観光客が多い。宗教的雰囲気引かれて、ヨーロッパから多く来ているので、四国のお遍路さんも宗教的部分があるので、新しい開拓をして滞在型観光を推進してはどうか。</p> <p>コミュニティバスについて、丸亀市や善通寺市でもバスを良く見かけるようになったが、28年度の取り組みでは予算がない。コミュニティバスで飯山の方へ行っただが、もう少し本数があればと感じた。地元の人々の利用もそうであるが、国内外観光客を増やすためにも観光地を通る路線も考えてみてはどうか。</p>
富士川副課長	<p>アジア圏からの観光客が多いのは、航空直行便の関係がある。</p> <p>それから、本島笠島地区の町並みや瀬戸の多島美には、欧米の方に好評である。いろんな国の観光客に対応できるようなインバウンド施策を考えていく必要がある。外国の人との簡単な会話であれば、都村委員からの会話教室の実施や、今はスマホでも自動翻訳ができるので、そういったことも考えて、いろんな国の人への対応ができればと思う。</p> <p>丸亀市や善通寺市ではバスを運行しているが、それぞれ交通弱者の足の確保を第一に考えているものである。大きく赤字を出して、財政負担も大きい状況である。広域に広げるにも、赤字負担の部分があり、進んでいないのが現状である。観光面での需要があれば、赤字を補えることもできるので、少し工夫ができればと思うが、現状、コミュニティバスの連携はハードルが高く、いろんな調整が必要である。</p>
角野委員	<p>バスのお客さんを想像すると、平日と土日の需要が違うのではないと思う。平日は交通弱者の足としての利用が多いが、土日は病院利用客も少ないので、観光客向けのルートを考えるなどの工夫ができれば、余り予算をかけずに土日で落ちる需要をカバーできるのではないと思う。</p>
平田委員	<p>来年、まんのう町で全国育樹祭が開催されるが、定住自立圏での取り組みとの関係はどのようなになっているのか。</p>
長森課長 (まんのう町)	<p>全国育樹祭は、来年、まんのう町で開催されるが、県内の関係市町にも協力を求めいく予定である。こちらの定住自立圏を越えた枠内で、今後担当で協議していく予定である。</p>
高橋委員	<p>丸亀城等のARアプリの開発をしているが、定住自立として他市町へ誘導するための策は取られているのか。</p>
志村	<p>こちらのアプリを開くと、定住自立の事業ということが謳われているほか、画面展</p>

高橋委員	<p>開の中で、他市町のアプリの紹介がされている。</p> <p>定住自立の取り組みは、2市3町の住民が定住したいと願っての取り組みであるはずなのに、内容や目的がそれに沿っているのかなと思う。中讃広域行政事務組合のための予算であり、取り組みであるように感じる。</p>
山地課長	<p>もともと2市3町は中讃広域の組合を設立して、ごみ処理や電算センターなどスケールメリットをいかしている。それ以外でも、イベントや交流で連携していたが、そういう地盤があった上で、国の制度である定住自立圏の取り組みを始めた。基本的には、住みやすいまちづくりをしていこうというものである。取り組みをすればそれだけ国の補助が増えるものではなく、各市町も予算の枠組みで実施している。今回のARアプリについては、たまたま国の地方創生の全額補助があったのでできたが、定住自立の取り組みは、高橋委員お示しのとおり定住という目的が根底にある。</p>
立山委員	<p>4月から転勤でこちらに来ているが、丸亀は非常に住みやすく、いいところと感じている。交通の面で、少しコミュニティバスは本数が少なく不便と感じるのと、車の交通マナーが他県と違うという印象がある。公共交通の充実のため、コミュニティバスが果たす役割は大きいと感じる。</p> <p>就職面接会については、今回本学の学生からも4名参加した。開催時期は、やはり遅い印象があった。その4名の学生も就職が決まらない中、県内、丸亀で住みたいという意向もあり、先生側で参加を勧めたものである。学生も就職面接会のチラシやポスターを見ていたが、行きたいという学生が少なかった。学生が住みたいと感じる魅力を高める必要がある。そこで、ボランティアを通してまちの魅力をみてもらおうと、学生へのボランティアの参加を勧めたいと考えている。</p>
板倉会長	<p>就職面接会については、UターンやIターンの学生、または地元の学生を対象にするかで、やり方が変わってくる。時期的には7月までは試験があるので、8月のこの時期でもいいが、お盆中なら多くの学生も帰ってくるかもしれない。いずれにしても就職協定の影響があって難しい。</p> <p>コミュニティバスについて、平日は高松市の大病院の周りは車で一杯であり、病院を中心に公共交通ネットワークを考える必要がある。</p> <p>他にご意見等もないようでございますので、この議事につきましては、ここまでとさせていただきます。</p> <p>続いて、議事(2)「第2次定住自立圏共生ビジョンの策定について」、事務局より説明をお願いします。</p>
志村	<p>((2) 第2次定住自立圏共生ビジョンの策定について、資料に基づき説明))</p>
板倉会長	<p>ただ今事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問等はありませんか。</p>

佐藤委員	女性活躍推進の取り組みについて、私も丸亀市の男女共同参画の関係の委員をしていますが、そちらの男女共同参画室との関係はどうなっているのか。
志村	この取り組みは、本市の男女共同参画室から提案があったもので、2市3町の担当課が共同で、女性活躍推進のための情報発信や研修等の連携事業をしていこうとするものである。
神原委員	幹線道路整備の連携は、非常にいい内容だと思う。3年前に、定住自立の取り組みが始まる時に意見を出した。市や町の境で道路切れている状況がいくつかある。これからの先を見て、2市3町の道がつながってくることを期待したい。
山地課長	道路整備に関しては、今まで2市3町の連携ができていなかった。今回、すぐに整備計画ができるわけではないが、まずはお互いの計画などの情報交換をして進めていくことになる。定住自立としても効果のある取り組みであるので、今後事業が進んでいけばと思う。
平田委員	県内では交通死亡事故が多いので、その事故防止対策として、この定住自立の取り組みに入れるべきかどうかかわからないが 高齢者の免許返納制度を考えてみてはどうか。まんのう町では免許返納したら、バス券を支給している。各市町も制度があると思うが、交通事故防止対策という大きな目的で考えてみてはどうか。
志村	他市町の状況は分からないが、本市担当課にお伝えしたい。
立山委員	女性活躍推進の取り組みについて、本学でも女性の学生が少なく、全体の5%という状況である。施設としても、女子学生用の寮も設置しているが、なかなか入学が少ない。こちらでは情報の一元化や発信をすとなっているが、どのような情報であるのか。
志村	女性活躍推進に関しては、国の制度や推進のための助成金、またワーク・ライフ・バランス推進も含めた先進的な取り組みの情報を発信していこうとするものである。
高橋委員	コミュニティバスの取り組みは、ずっと検討という状況が続いている。もう少し一歩二歩進んだものにならないのか。
山地課長	先ほどもご説明しましたが、本市のコミュニティバスでもかなりの赤字が出ているのが現状である。担当課でも協議をしているが、各市町でも独自の運行をしており、連携するとなると費用負担の問題が大きい。これを定住自立で取り組んでいくことは効果のあるものと思うが、どうしても財源の問題がある。先日の首長会でも、ご提案があったが、今後、例えば多度津町まで延伸するとどれくらいの費用が発生するかなどの課題を研究するよう担当課に伝えたいと考えている。

板倉会長	<p>他にご意見等もないようですので、この議事につきましては、ここまでとさせていただきます。</p> <p>以上をもちまして、本日の審議会を終了いたします。ご審議、お疲れ様でした。</p> <p style="text-align: right;">(会議終了)</p>
------	---